

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(6/7)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
アジアヘッドクォーター特区 (東京都)	正	3.6	4.8 進捗度 ・多国籍企業のアジア統括拠点及び研究開発拠点の誘致数 131% ・その他多国籍企業の誘致数 156%	2.7 規制の特例等 ・ビジネスジェットの使用 手続簡略化 等 地域独自の取組 ・アジアヘッドクォーター特区拠点設立補助金 ・ビジネスコンシェルジュ事業 等	3.5	<p>・企業誘致、外国企業の相談件数など着実な達成は評価される。施策の一層の進捗を期待する。</p> <p>・拠点設立補助金の運用、生活環境整備支援補助金等の独自の取組があるものの、戦略的な取組の結果というよりも、民間活力による成果と解釈できる。</p> <p>・新たな開発案件や取組が停滞している点が気になる。既にグローバル都市として高い評価を得ている東京都の取組としては物足りない。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。